

平成 3 1 年 2 月

結城市教育委員会定例会議事録

結城市教育委員会

平成31年2月結城市教育委員会定例会

- 日 時 平成31年2月19日（火曜日）
- 場 所 駅前分庁舎 多目的スペース会議室
- 出席委員 小林仁教育長  
中村義明教育長職務代理者  
北嶋節子委員
- 教育委員会事務局  
教育部長 鶴見俊之  
学校教育課長 佐山敦勇，指導課長 鶴見力男  
生涯学習課長 田中真一，スポーツ振興課長 駒井勝男  
学校教育課学務係長 石井智之

1 付議案件

なし

2 報告事項

- (1) 報告第5号 教育長報告
- (2) 報告第6号 平成31年度学校給食センター物資納入業者について
- (3) 報告第7号 第19回シルクカップロードレースについて

午前10時30分 開 会

- 学校教育課長 それでは、教育委員会を始めさせていただきます。  
なお、本日の教育委員会傍聴の希望者はおりませんでした。  
定足数に達しておりますので、この会議は成立いたします。  
それでは、小林教育長より開会宣言をお願いいたします。
- 教育長 ただいまから教育委員会2月定例会を開会いたします。  
会議録署名人の指名をいたします。  
北嶋委員に署名をお願いいたします。  
それでは、これより議事に入ります。  
次第2、議案上程はございません。  
続きまして、次第3、報告事項でございます。案件は3件でございます。  
まず、報告第5号は教育長報告になりますので、私から報告をいたします。

## ◎教育長報告

- 教育長 お手元の資料、2ページ、3ページをお開きください。  
教育長報告について。  
上記のことについて、別記のとおり報告する。  
平成31年2月19日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。  
3ページ、1の平成30年度市内中学生進路出願状況についてということで、そこに市内の3中学校の出願状況について記述をしたところでございます。括弧内は昨年度の出願状況ということで、比較をいただければと思います。  
なお、茨城県につきましては明日と明後日が志願先変更、そして栃木県は明日と明後日が栃木県立の出願ということになっておりますので、この後の志願先変更等で出願状況の変更が想定される場所ではございますが、現状としてはそのような状況でございます。  
高等学校の入学試験等の日程については、そこに記述してあるとおりでございます。また、前回のときにもお示しをしたところでございます。  
続いて、2番の平成30年度児童生徒の不登校者数について、1月末現在で（1）小学校30日以上欠席につきましては18人、昨年は9人だったので、小学校の30日以上の児童の人数がふえているという傾向にあるということで、詳細につきましては、そこに書いてある学年とか男女の別で示してあるところでございます。  
なお、そこに記述のない学校については、現在30日以上は児童はいないというような状況でございます。  
（2）の中学校の30日以上につきましては、今年度は現時点で41人、昨年と同時期については46人だったので、若干改善の傾向と。また、学校におきましてもそれぞれ昨年度に比べての状況を記述してある

ところでございます。括弧内については昨年度の状況でございます。

3, その他としまして、今後の卒業式等の日程、また、臨時教育委員会の日程を示しているところでございます。

別紙でインフルエンザにつきましては、学級閉鎖等、別紙の資料で示してあるとおりでございまして、現在のところ学級閉鎖はゼロということで、先週まで学級閉鎖が継続して措置されていたところでございます。今後も状況を把握しながら適切に対応していきたいというふうに考えております。

参考につきましては、結城市議会の第1回定例会が2月27日から開会ということで、今回教育委員会の定例会も早目に開催をさせていただいたところでございます。

以上、報告でございます。よろしくお願いいたします。

ご質問等ございましたらお願いいたします。

○中村教育長職務代理人 1つ。

○教育長 どうぞ、中村委員さん。

○中村教育長職務代理人 不登校関係についてなんです、前にもちょっとお話ししたと思うんですが、この統計、今、統計の問題が国会でも取り上げられていますね。この人数というのは、結構子供たち、在籍数が変わらなければ昨年度と比べていいんでしょうけれども、比較検討していく場合に、率で上げてもらったほうが助かるかなと思って。極端に言うとな、人数増えても、実際の状況としては減少傾向にあるという場合もあるわけですよ。だから、できれば、むしろ人数よりは欠席率を上げていただいたほうが判断しやすいかなと思うんですが。素直にこれとりますと、小学校は倍増ですよ。恐らく昨年度の同時期での比較だと思うのですが。こういったときに、じゃ、倍増だから、それはかなり増えているので対策を講じないといけなとなるんですよ。そういうことで、ちょっと統計の出し方をちょっと考えていただければ。

○教育長 ありがとうございます。

ぜひ今後は率のほうで、表記もあわせてお知らせをしたいと思います。

小学校について、人数が極端にふえているという状況は、在籍がふえているというところはない状況ですので。それと、不登校の児童数が増加しているということを踏まえた今後のかかわり、そういうものをしっかりしていかなければいけないのかな。さまざまな要因があるところではございますが。

ありがとうございます。

○中村教育長職務代理人 それとね、あと十分に、これは精査していただいているとは思いますが、野田市の小学校4年生の虐待の事件ありました。なかなか難しいとは思いますが。結局そこまでの主権というか、例えば児童相談所の主権、どこまで発揮できるか。いろいろあると思うんです。やむを得ない措置という考え方もあるし、それも問題になっているんですけれども。いずれにしても、精いっぱいやっぱりやってあげることが子

供たちの状況を改善させてあげるという方向で、十分手を尽くして上げるということが、結局はいいことかなと思うんですが。それで、なおかつ防げなかったら、それはもうしょうがないと。

ちょっとこの不登校の人数が増えているという、小学生のほうだけでいいと思うんですが、とりあえずは。これの不登校の欠席理由というか、主な要因というか、あとは気になる要因として上がってくるものはないかとか、その辺の状況をちょっとお知らせいただければ。

○教育長 お願いします。

○指導課長 それでは、ご質問のありました不登校の要因の件なんですけれども、手持ち資料が明確なものがございませんので、ちょっとあれなんですけれども、一番多いのは何といっても複合で、1つのものではなくて、幾つかが組み合わさったものが多いというふうな報告が上がっております。その中でも、やはり家庭生活に起因するものが最も多い状況です。また、不登校が続くことによる学業不振が、これも非常に登校を渋る大きな要因になっているという状況が続いております。

○中村教育長職務代理者 ありがとうございます。

今までの報告いただいたものと余り変わらないという、それはそうだと思います。ただ、その中で一つのトリガーというか、きっかけになるもの、絶対何かあるんだと思うんですよ。主たる要因というかきっかけね。それが絶対これあるはずなんだと思うんですよね。その辺を、それぞれの子供たちにとって全部違うと思うんですが、でも、その一つのきっかけというのがわかると、私はいいと思うんですよね。複合的というのとはわかるんだけど、その中でも結局どこを攻めていったら改善できるかなという。そのときに突っ込みどころがありますよね。その辺をある程度、これは仮説でいいと思うんですよ。それを実際にやってみるという、そういうふうな何ていうのかな、取り組みかな。それをぜひ期待したいんですよね。それはあくまでも仮説、そう我々がいろんなデータから思っても、実はそれじゃなくて、その裏に隠れてた、それが結局トリガーになっていたという、そういうこともあるわけですよね。でも、とにかくやってみようというか、そういうものがこういう報告の中で具体的に、学校等から上がってくるようなシステムをつくってもらおうと、今、虐待でも何でも家庭の生活というのは、この前もちょっと上山川小学校の件も出ましたし、それでまたちょっと脱線しますが、上山川小学校の校長さんからもいろいろ配慮してくださって取り組んでもらっているという、今後卒業式がありますけれどもね。それここでもかわいそうだろう云々じゃなくて、むしろその後のことを考えたときに、ぜひ子供の前で、頑張っているお父さんの姿を見せてあげるという方向でやっていただくようなほうこうになりつつあるのかなとは思いますが、そういうことも含めて、家庭生活というのは結構大きい。今回問題のあったテレビの話題の虐待なんかも結構家庭生活ですよ、広く言えば。

そういったことで、学校というね、いわゆる今までは全て学校にお任せみたいながあったんだけど、実は家庭生活にその問題がはらんでいるのが多いんだと思うんですよ。家庭というのは、やっぱり民生委員さんであってもなかなか入っていくのは難しい。でも、そこを、だからといって、逃げてはいないと思うんですが、いわゆるもう少しこう何ていうのかな、コミュニケーションとか、そういったものができるような関係づくりを、それぞれの担当で、部署でやっていけるという。そういうムードが盛り上がるというかなと思うんですが。とにかく不登校の主たる要因とか、それが外れでもいいけれども、何か一つこうあるんじゃないかなということで、一つポイントとして上げていただいて、それ以後とりあえず改善策を考えるという。そういったことが、やっていただいているとは思いますが、さらにやってもらいと、解消をできるだけ早くということをね。その子にとってはもう長い人生のうちほんの短い期間であるけれども、物すごく大事な期間だと思うんですよね。かけがえのない時間だと思うんですよ。だから、一日でも早く解消に向ければ、その後の社会の自立もスムーズにいくか、その辺のところをぜひお願いします。

○教育長

ありがとうございます。

北嶋委員さん。

○北嶋委員

ちょっとこの人数のことなんですけれども、上山川小学校は昨年ゼロで今年2人なので、新しいとか、登校されたと思うんですけれども、ほかのところは前年度が、例えば結城小学校だったら1名前年度で今年5人になっていますけれども、その5人の中には、昨年从不登校になっている1名も含まれての5人なんですか。それともこの昨年の1名はまた学校に来られるようになって、また別の不登校者が出て5人になったというような状況なんでしょうか。

○指導課長

多くが引き継いで継続のお子さんがというふうな結果になっております。

○北嶋委員

そうすると、家庭状況はなかなか変わらなくて、学業不振のほうはどんどんまた深まるばかりになっていくと思いますよね。わかりました。

○中村教育長職務代理者

ちょっといいですか。結局家庭状況なんです。私は本当にそう思うんです。学校に例えば先生と子供たち、あるいは子どもたち同士という、その問題ももちろんありますけれども、絶対に家庭というのは物すごく大きな要因をはらんでいるんです。その子供がやっぱりこういう記憶をなくすという。その中に夫婦、だからお父さん、お母さん、それと一番、最近こちらの地区のほうはないとは思いますが、嫁、姑同居の関係というのが、これ難しいんですよ。

これは自分の経験からだけでも、これはね、私、数例といっても2例、本当にもの見事にそこが親と親系、あるいは親とさらにその生みの親、子供からすればおじいちゃん、おばあちゃん、それから自分の親の関係ぶりが改善したことによってぴたっと直ったのが私の実際に扱った経験でも2件あるんです。だから、これね、意外と学校とか、民生委員さん

とかね、地元だからよく知っていますよね。あそこの家はどうかのと必ず出てきます。そういう民生委員さんたちの力を十分いただいてというのは意外といいかもしれないですよ。

すみません、途中で。

○教育長 多分早い段階でのね、特に小学生段階とかそういうときには、そんないろんな支援をいただけるところをね、学校だけとかそういうんじゃなくて対応していくということがきつとね。

○中村教育長職務代理者 民生委員さんは地元の人なんで、あんまり言えないところもあるんだけど、でも、言える範囲のことで言っていただくといいと思います。

○教育長 ありがとうございます。  
そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。  
(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 それでは、ないようですので、教育長報告については以上で。  
続きまして、報告第6号 平成31年度学校給食センター物資納入業者について、事務局より説明をお願いいたします。

#### ◎報告第6号 平成31年度学校給食センター物資納入業者について

○給食センター所長 それでは、報告第6号 平成31年度学校給食センター物資納入業者について。

上記のことについて、別記のとおり報告します。

平成31年2月19日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

皆さん、お手元の資料の5ページ並びに6ページのほうをごらんください。

5ページのほうは先日、2月13日に結城市立学校給食センター運営審議委員会を開催いたしまして、そちらで平成31年度、次年度の給食用一般物資の納入業者について審査をしたところ、15業者について決定をいたしましたので、報告をさせていただきたいと思っております。

審査した内容につきましては、報告のとおり1番から5番まで必要な書類をそろえて審査をしております。新規事業者につきましては、事業所並びに保管場所の確認を給食センター職員において行っております。

次の6ページのほう、具体的な実際の業者名のほうをごらんください。

31年度につきましては、1番から13番までの事業者につきましては、平成30年度、今年度と同規模の事業者になります。14番、15番につきましては、31年度からの新規の事業者になります。

14番につきましては、株式会社杉山商店、こちらは水戸市の事業者になります。主に食肉加工品、穀乾物、冷凍品、添加物、調味料、缶詰、乳製品もろもろ、ほぼ一般物資のものの納入が可能です。生鮮食品並びに食肉につきましては登録がございません。

15番につきましては株式会社イバレイ、こちらは茨城町の事業者になります。同じく食肉加工品から生ものまで、生鮮食品並びに食肉につきましては登録はございません。

こちら2つの事業者とも筑西市、古河市、坂東市のほうには納入実績のある事業者でございます。

以上15業者ということに決定いたしましたので、ご報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

○教育長 　　ただいま事務局から報告がございました。  
ご質問がございましたらお願いたします。  
中村委員さん。

○中村教育長職務代理者 参考までにとということで教えてください。

この評価の何か採点というのがあるんですね。これはかなり高得点なんですけど、まずこれは100点満点ですか。

○給食センター所長 100点満点というのではなく、加点の方式の算定方法で……

○中村教育長職務代理者 加点というと、最大数というのはいほどのぐらいになる。

○給食センター所長 こちらがですね、保健所のほうで審査する内容でして、こちらのほうには詳しい内容については件数そのものは衛生監視票という帳票がこちらに届くような形になっています。実際にはですね、90点を超せばおおむねよいとされております。

○中村教育長職務代理者 食肉衛生……

○給食センター所長 食品衛生監視票という帳票で、これは各事業者が所轄の保健所に年に一度、衛生監視調査ということで実施をされているものでございます。

○中村教育長職務代理者 そうですか。そうすると、結局センターのほうで評価しているとかじゃなくて、保健所のほうで、その衛生状況とか、わからないけれども、衛生に関する何かチェックをしたものをこちらにとということですね。

○給食センター所長 そうです。

○中村教育長職務代理者 わかりました。

○教育長 　　センターも何か検査というか、現地へ行ってという部分もございませんか。

○給食センター所長 あります。新規事業者につきましては、まずは事業者の事業所ですね、あと物資の保管場所、それと保管状況並びに配送車の現物、現場の確認をさせていただいております。それと、当然加工業者でありますところだと、その加工場所ですね、そちらのほうの衛生監視票にのっとったとおりの設備が実際に適正なものになっているかどうかというのを目視及び事業所の帳票によって現地踏査をしているところでございます。

○教育長 　　ありがとうございます。  
センターのほうでも現地をやっていると。

○中村教育長職務代理者 全てじゃないでしょうけれども、大体二重にチェックをされているということですね。

○教育長 　　ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長

それでは、第6号については終わりといたします。

続きまして、報告第7号 第19回結城シルクカップロードレース大会について、事務局よりお願いいたします。

## ◎報告第7号 第19回結城シルクカップロードレース大会について

○スポーツ振興課長 報告第7号 第19回結城シルクカップロードレース大会について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

平成31年2月19日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

資料の7ページと8ページからをごらんいただきたいと思います。

資料の8ページにつきましては、当日の参加者数並びに出走者数となっております。9ページにつきましては、8位までの入賞者の記録となります。

まず8ページについて簡単にご説明させていただきます。

まずエントリー数なんですけれども、総エントリー数につきましては、人数ベースで3,464名の方のエントリーをいただいております。こちらの表ですと、1.8キロ、500、254というのは、これは組数になります、掛ける2になります。エントリー数につきましては、昨年より383人減となっております。

あとこちらの10キロオープン、5キロオープン、3キロオープン、1.8キロ親子オープン、このオープンについてご説明します。まず5キロオープンの9名につきましては、白鳳大学の陸上競技部の招待の選手のため、オープン参加扱いということで9になっております。それから1.8キロ親子オープンにつきましては、エントリーしていただいた保護者の方と、当日違う保護者の方が走られましたので、オープン参加ということで記録対象外というような形になってしまいます。

あと、3キロオープン、それから10キロオープンにつきましては、計測チップが外れてしまって参考タイムということになりましたので、オープン参加ということで対象となっております。

あと、続きまして、結果のほうなんですけれども、8位入賞者のうち結城市民の方及び新記録の報告をさせていただきます。

まず、親子の部の方なんですけど、親子で結城市の方が9人入賞されております。小学生男子で1名、中学生男子で1名、5キロ男子39歳以下で1名、5キロ39歳以下の女子の方で1名、5キロ40歳代女子の方が1名、10キロ男子40歳代が1名、10キロ女子50歳代が1名ということで、計1組と7名の方が8位までに入賞をされております。また、今大会で大会新記録が2つほど出ております。まず1.8キロメートル小学生女子の部におきまして6分13秒という方です。同タイムが2名おります。

こちらは2秒記録を更新しております。あともう一つ、新記録なんですけれども、10キロ男子39歳以下、こちら30分22秒という記録でございます。こちらにつきましては27秒の公式記録が更新されております。

以上でございます。

- 教育長 事務局から説明がございましたが、ご質問等ございましたら。
- 岩崎委員 10キロ男子39歳以下の方、断トツで早かったと言っていましたもんね。
- 中村教育長職務代理者 10キロ男子の方。
- 教育長 キロ3分で切っちゃう、そうしたらオリンピック選手並みですよ。普通オリンピック選手もキロ3分何秒ですよ。いや、すごい記録です。  
(発言する者あり)
- 教育長 今回、山形のほうからたくさん、河北町から中学生なんかも頑張ってきていました、山形。3キロ女子の記録に河北中と書いてあるじゃないですか、これやはり山形なんです。  
そのほか警察と消防の協力について、随分報道もされていたところですけども、ぜひ紹介を。
- スポーツ振興課長 今大会からはですね、結城警察署のランナーポリス、それから結城消防署のランナーレスキューということで、警備と救護を消防署員の方と警察署員の方にご協力をいただきまして、実際に選手と一緒に走っていただきまして、警備と救護のほうを担当していただきました。  
教育長のほうからちょっと朝聞いたんですけども、消防署と警察署でのそういった取り組みについては、県内で初めてだったとの話があったみたいです。
- 教育長 昨日茨城放送でそんな紹介をされていて、警察の課長もインタビューに答えていました。
- 中村教育長職務代理者 県内で初めて。
- 教育長 県内で初めて。警察と消防の方が一緒になってやるということで。
- 中村教育長職務代理者 ランナーポリスはね、よく聞きますけど。
- 教育長 ランナーポリスは結構いろんなところで対応いただいて。でも、消防が一緒になってやってやるという、AEDを持参してね、動いていました。
- 中村教育長職務代理者 そうだよ、どちらかというと地方なんかは消防のほうが。
- 教育長 それは初めての取り組みだということで、茨城放送でやっていました。
- 中村教育長職務代理者 ランナーポリスはあれ、テロか何かの対応であれでしょう。それはいいことだね。
- 岩崎委員 でも、みんなたくさん走っていましたよね。
- 教育長 走っていました。
- 岩崎委員 びっくりした、こんなに走っているんだというぐらい。
- 中村教育長職務代理者 ポリスが。
- 岩崎委員 はい、消防の人。
- 中村教育長職務代理者 でも、そういうことが必要なんだよね。やっぱりありがたいね。

- 教育長           さまざまな連携をというような話をされておりましたですね。  
何かそのほかご質問等ございますでしょうか。  
質問はよろしいですかね。  
    （「はい」と呼ぶ者あり）
- 教育長           それでは、報告第7号については終わりいたします。  
以上をもちまして、本日の案件については全て終了いたしました。  
教育委員会2月定例会を閉会とします。  
大変ありがとうございました。

午前10時30分 閉 会

上議事録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

結城市教育委員会教育長

結城市教育委員会委員